

# ‘甘平’の灌水方法の違いが果実品質と裂果に及ぼす影響

自動灌水システムを活用して、裂果の多発する夏秋期に異なる灌水区を設け、果実品質と裂果に及ぼす影響について調査検討した。

## 試験区の概要

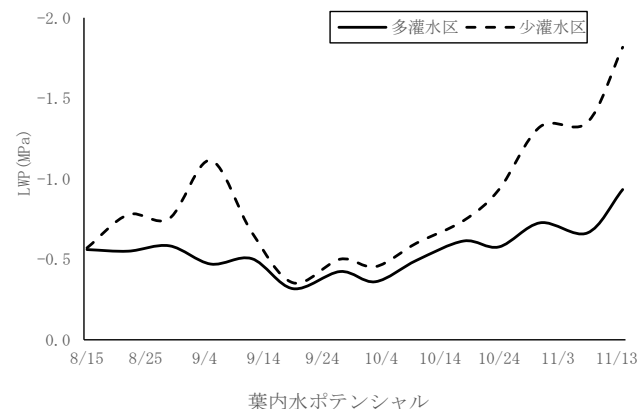


樹冠下に点滴チューブを設置

### 夏秋期の灌水区

試験区	灌水量 (L/樹・日)
多灌水	12.3
少灌水	3.1

2020. 8. 13~9. 26毎日灌水



水分ストレスは、少灌水区で高い状態が続いた

## 階級割合と裂果率

処理区	階級割合 (%)				収量 (kg/樹)	裂果率** (%)
	2L	3L	4L	5L		
多灌水	25.2	49.4	22.1	2.3	36.5	28.6
少灌水	22.6	42.4	30.9	3.8	29.7	38.1

2021. 1. 11調査 (n=3)

※2020. 8. 13から10. 18までの裂果率

t検定5%水準で有意差なし

収量は、多灌水区で多い傾向がみられた  
裂果率は、多灌水区で低い傾向がみられた

## 果実品質 (3L階級)

処理区	1果重 (%)	糖度 (° Brix)	クエン酸含量 (g/100ml)	果皮色 (a*値)
多灌水	285	14.6	0.70	30.7
少灌水	286	15.0	0.69	29.1

2021. 1. 11調査 (n=10)

t検定5%水準において有意差なし

果実品質はほとんど差がなかった

夏秋期の積極的な灌水によって、果実品質に影響を及ぼさず裂果が軽減する傾向がみられた。水分ストレスの大きな変化を抑えたことが要因として考えられる。